

# 幣原生誕150年「祝おう」



幣原喜重郎

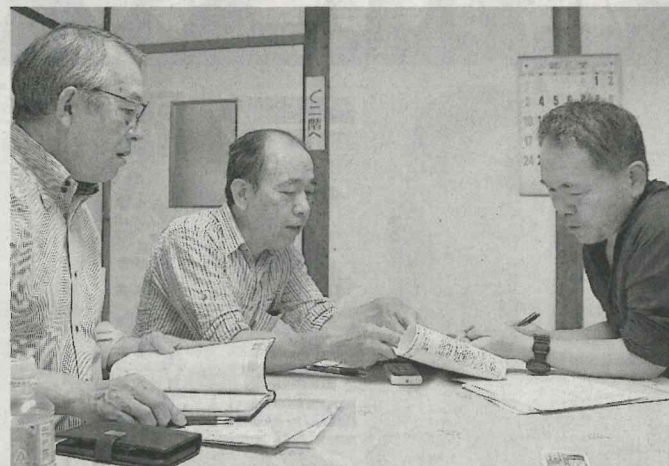
門真出身の首相幣原喜重郎(1872〜1951)をもっと知ってほしい。日本国憲法誕生の立役者でもあった幣原を、「戦後の平和の礎になった郷土の誇り」と慕う市民が、4年後の生誕150年を祝う企画の準備を進めている。

## 4年後へ門真市民ら企画

幣原は1872年9月13日、門真一番下村(現門真市)で生まれた。戦前は軍縮と国際協調の「幣原外交」をすすめる、軍部や政官財からは「軟弱外交」と非難された。1931年の「満州事変」後に外相を辞任。戦後は首相として日本国憲法づくりに参画し、46年の公布時には国務大臣として署名した。51年3月10日、東京の自宅で亡くなった。

### 大阪出身の首相

「門真出身だと知らなかったり、『しではら』と読めない人がいたりしてね」と戸田さん。「鈴木さんの記念館は千葉県野田市にござついのがあるの……」とは酒井さん。「鈴木さん」とは、ポツダム宣言受諾時の首相鈴木貫太郎(1868〜1948)のこと。いまの堺市で生まれ、首相官邸のホーム



幣原について、税理士の戸田伸夫さん(67)と元小学校教師の酒井則行さん(71)

### 憲法9条「幣原が発案」の説も敗戦直後の思い集約か

幣原喜重郎元首相は「戦争の放棄」を考えていたが、憲法9条の条文化にどこまで具体的に関わったのかは、今も論争の的となっている。連合国軍総司令部(GHQ)のマスター最高司令官に同趣旨を伝えることは「マスター回想録」に

あり、側近らの踏みこんだ証言も複数ある。一方でマスターによるものとする研究者もいる。文献調査を続けている酒井さんは「9条の発案者は幣原」説を支持するが、敗戦直後の状況にも注目する。壊滅的な被害に遭った当時の人

ページでも大阪出身とされているが、幼少期に本籍地の千葉県野田市に移り、記念館も同地にある。このため、幣原をこよなく愛する戸田さんと酒井さんからすれば、「大阪出身の首相は幣原さんだけ」となる。

### 映画を今年制作

実行委が最初に取り組むのは、映画「しではら」9条を作った男」の制作だ。幣原と憲法9条成立との関わりに焦点をあてて記録映像風に描く。公募する出演者のオーディションは10月、一般公開は来年9月を予定しており、詳細は近く発表するとしている。

このほかにも実行委を中心に①功績の調査②全国と世界へ発信③幣原の平和の願いを後世につなぐ④門真市の地域おこし——を4本柱として2022年9月13日まであれこれ展開していく。

幣原が歩いたであろう通学路をシデハラ・ロードと名づけられないかといった夢をふくらませている2人は、「幣原を通じて門真に親しんでほしい。2022年は市をあげて盛大なものにしたい」と話す。

企画などについての問い合わせは戸田さん(090・4301・6219)へ。(下地毅)